

質問に対する回答について
工事名) 磐越自動車道 束松トンネル工事

質問事項と回答

| 番号 | 質問事項 | 回 答 |
|----|---|--|
| 1 | <p>設計関係図書 地質平面縦断図(1)「地形・地質 設計施工上の留意点 DⅡ-a(H)-AFS-K 箇所の記載では、 「地下水排除工」に関する留意事項が記載されています。</p> <p>しかしながら、設計図書や数量明細表、割掛対象表等には、「地下水排除工」に該当する単価項目や割掛項目の記載はありません。本工事に「地下水排除工」は含まれていないという理解でよろしいのでしょうか？（質問①）</p> <p>また、本工事の技術提案の評価項目①では、トンネル施工に関する留意点を求めていることから、本工事に「地下水排除工」が含まれていないのならば、トンネル施工の一部に該当する「地下水排除工」に関する留意点や対応策については技術提案の範囲外となるという理解でよろしいのでしょうか？（質問②）</p> | <p>質問①：本工事に「地下水排除工」は含まれません。</p> <p>質問②：技術提案評価の対象となるか否かについては、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p> |
| 2 | <p>設計関係図書 設計業務成果品等 I 期線の実測データおよび I 期線の解析データは、技術提案 評価項目①の注釈「※計測データとは、設計図書に示す計測工 A、計測工 B、計測工 C、I 期線計測データ等を示す」で定義した計測データに含まれているという理解でよろしいのでしょうか？</p> | <p>技術提案評価の対象となるか否かについては、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p> |

| | | |
|---|--|--|
| 3 | <p>その他 01_特記仕様書 35 頁</p> <p>本工事における技術提案の評価項目①において「※計測データとは、設計図書に示す計測工A、計測工B、計測工C、I 期線計測データ等を示す」と計測データは「等」を含むものとして定義されることから、「本工事の特記仕様書 2 9 - 1 9 (4) I 期線トンネルの計測(以下、I 期線トンネル計測という)」による観測データも、計測データに含まれることとなります。</p> <p>I 期線トンネル計測について「I 期線トンネルの計測を引継ぎ、調査の継続を指示する場合がある。」と記載されています。</p> <p>ここで、技術提案の評価項目①では「計測データの活用を踏まえたトンネル施工の留意点及び対応策に関する提案」を求めていることから、I 期線トンネル計測を「引継がれた場合」と「引き継がれなかった場合」では、計測データの活用に対する技術提案を記述するための条件が異なると思慮されるようです。</p> <p>従いまして、技術提案の評価項目①については工事受注者が I 期線トンネル計測を引継いで、調査を継続することとして、技術提案を記述するという理解でよろしいのでしょうか？</p> | <p>技術提案評価の対象となるか否かについては、自社でご判断のうえ、ご提案ください。</p> |
|---|--|--|

| | | |
|---|---|--|
| 4 | <p>設計関係図書 01_特記仕様書 43～45 頁 06-3_設計図_トンネル 2、23 頁</p> <p>長尺鋼管先受工について、特記仕様書および設計図書に 1 本当りの注入量の記載がございませんが、設計図書 2 頁の数量総括表より注入量 443,700L と打設本数 580 本より、1 本当りの 765L と算出されますが、この考えで宜しいでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p> | <p>令和7年5月21日掲載の「質問に対する回答について⑤」質問番号3に対する回答の通りとなります。</p> |
| 5 | <p>設計関係図書 01_特記仕様書 43～45 頁 06-3_設計図_トンネル 2、23 頁</p> <p>長尺鋼管鏡補強工について、特記仕様書および設計図書に 1 本当りの注入量の記載がございませんが、設計図書 2 頁の数量総括表より注入量 93,600L と打設本数 520 本より、1 本当りの 180L と算出されますが、この考えで宜しいでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p> | <p>令和7年5月21日掲載の「質問に対する回答について⑤」質問番号3に対する回答の通りとなります。</p> |
| 6 | <p>その他 全般</p> <p>本工事は、令和 7 年度積算基準に準拠すると考えて宜しいでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p> | <p>本工事は、土木工事積算基準(令和 6 年度)を適用するとお考えください。</p> |
| 7 | <p>その他 全般</p> <p>本工事で計上する単価は、入札月である令和 7 年 9 月時点の単価と考える宜しいでしょうか。ご教示をお願いいたします。</p> | <p>土木工事積算基準 第 1 編総則 3 工事費の積算 (4) に記載のとおり、入札時における市場価格に対応する単価とお考えください。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| 8 | <p>その他 全般</p> <p>I 期線トンネルの切羽の施工記録（切羽観察記録、A 計測結果、B 計測結果）を開示して頂けないでしょうか。開示して頂けない場合は、受注後にご提供頂けると考えて宜しいでしょうか。</p> | <p>契約後に協議し、必要に応じ貸与いたします。</p> |
| 9 | <p>契約関係図書</p> <p>02 入札公告（説明書） 10 頁</p> <p>評価基準 ◇留意事項 ⑥技術提案は、1 つの施工技術を用いた施工内容である場合、または、複数の施工技術を組み合わせによる施工内容である場合に評価する、とあります。この複数の施工技術の組み合わせとは、一体不可分の施工技術の組み合わせのことを表しているのか、それとも、関係のない複数の技術を組み合わせのことを表しているのか、ご教示をお願いいたします。</p> | <p>複数の施工技術を組み合わせとは、一体不可分の施工技術の組み合わせだけでなく、複数の施工技術の組み合わせのすべてを表しています。</p> |